

熊谷西小学校区ハートフル・ミーティングの概要

- 1 日 時 令和元年6月23日（日）午前9時30分から11時30分
- 2 場 所 箱田高齢者・児童ふれあいセンター
- 3 参加者 31名
- 4 会議の概要

（1）安全・安心に暮らせるまち（主に防犯・交通安全について）

市民

全国的にそうでしょうが、この地区でも単身高齢者が増え、空き家も多くなってきています。以前、自治会で空き家の調査をして市に提出しましたが、その後、空き家対策についてはどのように進んでいるのでしょうか。

市長

平成28年度に自治会連合会に御協力いただき、市内の空き家調査を行いました。そのデータを基に、平成29年度に所有者の意向調査を含む実態調査を行い、空き家の発生予防から、跡地利用の促進までの4段階に分けた具体的な施策を空家等対策計画※としてまとめました。

その計画策定に当たり、弁護士会、司法書士会、建築士会、土地家屋調査士会などから専門の方や警察、消防などで空家等対策協議会というものを設置しています。

空き家対策では、適正な管理が行われていない場合には、所有者に対し改善していただくようお願いをします。改善が図られない場合には、何度でもお願いをし、それでも状況が変わらない場合は、空家等対策協議会に諮って特定空家として指導を強化していきます。今回、市内で9件がその対象となりました。状況的に改善されず、周辺に多大な影響を及ぼすようであれば、相続放棄等によって費用の請求先については難しい部分がありますが、行政代執行による除却という方法を取らざるを得ないとも考えています。そのような段階まで進んでいますので改めてお礼申し上げます。

※ 熊谷市空家等対策計画

http://www.city.kumagaya.lg.jp/kurashi/bosai/bohan_kotsu/akiyataisaku/akiya_keikaku.html

市民

今日は校長先生もお見えですので、小学生の登下校についてのお願いです。子ども達が横断歩道を渡る様子を見ると、歩行者ですので守られて当然と考えることは分かりますが、信号が点滅していても間隔が大きく空いていたり、後ろを振り向いて話しながらゆっくり歩いています。

歩行者優先という交通ルールを覚えることも大切ですが、周囲への気遣いという面も大切なのではと思います。

市長

学校では交通指導員さんによる交通安全教室も行っていますので、そのような機会にもスムーズな横断を心がけるように、お話しいただけるといいと思います。

校長

全校朝会などでも、子ども達には繰り返し話したいと思います。

市民

親子で自転車に乗って横断歩道を渡る時にも、信号が点滅していても親が先に渡り終えてしまい、子どもが困っている様子も見かけたりします。親が後ろから見守りながら走るといいと思います。

市長

P T Aの集まりの時などを利用してお話しいただけるといいかもしれませんね。

市民

空き家に関して以前テレビで見たことなのですが、相続放棄をしたので関係ないと思っていたら、行政からは所有権を放棄したのであって、管理責任までは放棄できていないと言われ、弁護士と相談しているという話がありました。

相続放棄された空き家の除却を市が公費で行うということについてはどうお考えですか。

市長

倒壊の危険や衛生上の問題など周辺に悪影響を及ぼす空き家については、相続放棄された物であったとしても、市町村長が措置をなささいという法律の趣旨となっています。

費用負担の関係や除却後の土地の利活用については、単位自治体として国等へ意見していかなければならないだろうと思っています。

(2) 市政全般について

市民

5G（第5世代移動通信システム）は、2020年の実用化に向けて検討されているようですが、運用が始まると社会やライフスタイルが大きく変わると言われています。テレワークなどが進むと、住環境として災害の少なさといった安心安全に関することは優位性が高まってくるものと思います。熊谷市は災害が少ないと言われているので、PRするといいと思います。

市長

近年、大雪や竜巻の被害に見舞われましたが、お話のとおり大規模な災害は少ないと言われています。暑いという事実は変えることはできませんが、まち自体も平地が多く、可住面積も県内第2位となっており、子育て支援の充実など定住促進に向けた様々な施策を展開していますので、いろいろな面からPRしていきたいと思います。

市民

2学期制を取り入れていた学校が3学期制に戻しているという話も聞いたことがあります。それぞれメリット、デメリットがあるかと思いますが、2学期制については、どのように評価されていますか。

市長

熊谷市で実施している2学期制は、ただ単に学期を2つに分けて評価を2回するというものではなく、単元毎のまとめやテストなどを基に年に4回から5回の評価をすることで、より密度の濃いきめ細かな指導を行っています。そういったことから成績も上がってきていますので、熊谷市が行っている2学期制は成功していると捉えています。総合教育会議や学校評価などで、しっかりと検証を繰り返していくことも必要だと考えています。

市民

以前、市役所のロータリーにバスの待合所みたいな物が一時期ありましたが、何故壊したのですか。

市長

それは、環境省が地下水を利用した実証実験として市役所のロータリーに設置した物です。市としては、せっかく造った物ですのでそのまま残してほしかったのですが、国の事業計画に基づくものですので撤去となりました。

市民

平成26年の大雪の際に、民生委員は地域で雪かきをしてくださいと市役

所から随分言われました。職員で若い方も大勢いらっしやったと思いますが、対応はできなかったのでしょうか。

市長

あの大雪の時ですので、地域の皆さんにも御協力をいただきたいという意図で担当課からお話ししたのかもしれませんが、大変申し訳ありませんでした。

市民

休耕地などを利用して花を一面に植えれば、観光客も見に来ると思います。

市長

お花でまちをきれいに飾るというのはとても良いことだと思います。例えば、フラワーキーパー事業※やロードサポート活動※として中学生や様々な団体のボランティアの皆さんがきれいにしてくれていますし、地域でも花いっぱい運動を行っていただいているところもあります。そういった部分はしっかりと応援をしていきたいと思っています。

お話のようなことについては、観光客の誘致ということではありませんが、農業関連でコスモスなどを植えてくださったりしている事例もあります。

※ フラワーキーパー事業

<http://www.city.kumagaya.lg.jp/kurashi/shimin/npo/flowerkeeper.html>

※ 彩の国ロードサポート制度

<http://www.pref.saitama.lg.jp/a1006/kenminsanka/support-outline.html>

市民

東京の銀座通りの花壇には、花奉行、水奉行というように記載された看板があります。これは、水やりや花の管理は誰がやりますというように責任の所在を明らかにすることで、きれいに保たれているのではないかと思います。

市長

先程のお話で彩の国ロードサポート制度では、例えば、この道路区間は、どこの企業が、あるいは、どこの中学校が清掃や美化活動を行っていますと記載された看板がそれぞれ設置されています。ボランティアで活動してくださっている方々をさらに PR するような方法も考えていきたいと思っています。

市民

ラグビーワールドカップの開催が間近に迫っており、校区内にある箱田第4公園が徒歩で会場へ向かう人達の休憩所となると聞きました。何かできることがあれば応援したいと思っていますが、手伝いが必要であれば早めにお

話しいただけるとありがたいです。

市長

お話のとおり、ラグビーロードから近いということもあり、箱田第4公園に休憩所を設ける予定です。駅から大会会場まで徒歩で往復する人たちの為に、9月といっても暑いかもしれませんので、熱中症対策にも十分配慮した休憩スペースを考えています。その運営については、大会公式ボランティアが行うとのことですので。

地域の皆様には、例えば、ラグビーロード沿いにお住まいであれば、お花を飾っていただくなど、おもてなしの部分で協力いただければありがたいと思います。

市民

まちを元気にするには、若者を始めとする多くの人が訪れるような大型店舗の出店や企業の誘致などが必要かと思います。

市長

企業誘致につきましては、県内最高水準の支援策やトップセールスにより積極的に取り組んできましたので、大きな企業も増えてきましたが、引き続き努力したいと思います。

大型店舗については、大規模小売店舗立地法等の関係から中心市街地に建てるということは難しいところがあり、市街化調整区域内の場合には、農業振興、農地の保全等を推し進めなければならないという側面もあります。

地権者を始め関係する皆様に御協力いただくことで、ラグビーワールドカップに向けて新たな幹線道路を整備することができました。その沿線に店舗が立地することによって賑わいを創出できるような、そのようなイメージも持っています。

市民

熊谷といえば熊谷次郎直実が有名ですが、熊谷寺は時間帯を決めるなどして、多くの方に見てもらえるようにすることはできないでしょうか。

市長

確かに名刹ですので、中を見たいというお話が市へも寄せられますが、あくまで檀家の為のお寺で、一般に開放はしないというお考えがあるようです。それは、宗教的な部分ですので仕方がないことだと思います。

ただし、市の事業などではいろいろと御協力いただいております。例えば、直実市民大学の授業として寺内で住職さんにお話しいただくなどしています。

市民

アセットマネジメントについてですが、市民への周知や説明は今後どのように進めていくのでしょうか。

市長

市報等でお知らせしていますが、市内を5つのブロックに分け、説明会を今月の29日から来月13日まで順に行っていきます。それに加えて、特に、ここ何年かの間に学校の統廃合等を進めなければならない地域へは、別途お話をさせていただきたいと思っています。

それ以外にも、いろいろな形で皆様に細かくお話しさせていただくことで、今年度中には市民の皆さんからいただいた意見を集約して、全ての施設を対象とした個別計画を作り上げたいと考えています。

学校の統廃合については、地元の学校が無くなってしまうということですので、特に、関心は高いです。しかし、実際に学校生活を送る子ども達のことを第一に考え、できるだけ早い段階で決断すべきだと思っています。

市民

学校で給食をいただく機会がありましたが、冷めていて美味しくありませんでした。昔は校内で作られたものを食べたので、温かくて美味しかった記憶があります。

市長

給食に関しては、アセットマネジメントを進める上でも大きな要素になっています。現状は、合併によって妻沼、大里地区は自校式、それ以外は給食センター方式となっています。学校給食の自校式化については検討を重ねてきましたが、給食施設の設置基準が厳しくなり、学校敷地に収まらないところがいくつかできてしまいました。具体例を挙げますと、石原小学校もそうですが、周りに住宅が広がっていると敷地の拡張という訳にもいかず、難しくなっています。

そのような中で、給食センターも老朽化が進んでいますし、将来的に子どもの数が減り、学校統廃合が進んで行く予測がある中で、莫大な予算を投じて各校を自校式とするよりも、温度管理などもしっかりできるような新しい給食センターとすることで、全校をセンター方式としたほうが良いのではないかと考えています。

市民

以前、コミュニティひろばに北部地域振興交流拠点ができると聞いていましたがどのようになっていますか。

市長

北部地域振興交流拠点（仮称）の整備につきましては、県と共同して進めたいと考えていましたが、埼玉県議会の平成29年2月定例会で県の5か年計画の中から文言整理されるとともに、調査費予算を執行停止とする附帯決議が採決されましたので、それから進んでいないのが現状です。これからも引き続き共同整備については訴えていきたいと思っておりますが、導入施設として考えていた老朽化した中央公民館や商工会館などにつきましては、アセットマネジメントとの整合性も図っていかねばならないと思っております。

○市長まとめ

今日は大変お忙しい中、貴重な時間をいただきありがとうございました。また、いろいろな御意見をお聞かせをいただきましたことに感謝申し上げます。こうして市民の皆様から直接いただく御意見をしっかりと検討し、今後の行政運営に生かしてまいりたいと思っておりますので、これからもよろしく願いいたします。

暑さ対策事業を拡充しながら、市民の皆さんに熱中症に気を付けていただくようお願いをしているところではございますが、これから暑い季節を迎えますので、御自愛くださるよう改めてお願いしたいと思います。

また、ラグビーワールドカップの関係では、ラグビーロードを歩く多くの方もいらっしゃると思いますが、大型バスが何台も往復したりして御迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、一生に一度のことではございますので、お許しをいただきたくお願い申し上げます。

これからも是非、熊谷市の行政に御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げます。お礼の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。